

# 株主通信

Vol.18

2011年3月期 第2四半期

2010.4.1～2010.9.30

INSIGHT & INFORMATION



## 2010年4月 開発室を設置

当社のネットシェイブ技術を積極的に活用し、顧客の課題解決をお手伝いするため、若手技術者を中心とした開発室を設置しました。  
(詳細は裏表紙をご覧ください)



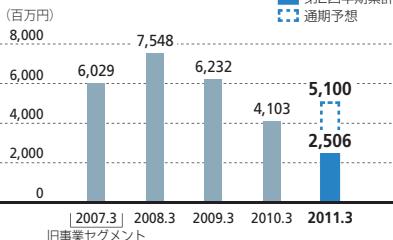
株式会社 ニチダイ  
NICHIDAI CORPORATION

証券コード 6467

## ニチダイグループの事業と製品

### ネットシェイプ事業

#### 売上高の推移



### ● 技術・強み

ニチダイは、高精度、高強度の自動車部品を一発のプレスで成形できる精密鍛造金型の開発、生産を行っています。

そのコアとなる技術「ネットシェイプ」は、金属の素材を、削らず熱を加えることもなく複雑な形に仕上げる理想の加工技術です。ネットシェイプは切削加工と比べて材料を3分の1にまで減らすことや、生産速度を従来の

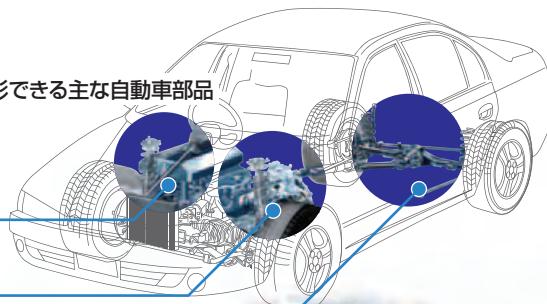
5～10倍まで高めることが可能で、生産効率に大きなメリットをもたらします。

ニチダイは、金型生産のみならず、研究開発から金型設計、精密鍛造品の部品製造までをカバーできるトータルエンジニアリング力で、省資源・省エネルギーを実現するライン作りに貢献しています。

### ■ ネットシェイプ事業のバリューチェーン



### ■ ネットシェイプで成形できる主な自動車部品



### ● ユーザー

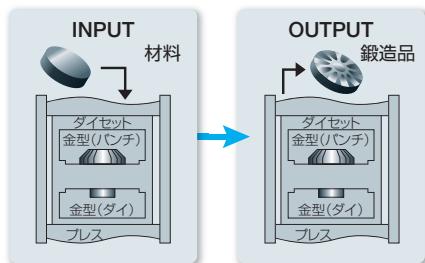
ネットシェイプは、一発のプレスで複雑な形状の部品を作ることができるため、精巧な加工と大量生産を必要とするエンジン、トランスミッション、駆動関連などの自動車部品製造に利用されています。

当社金型の多くは自動車関連企業で使われておりますが、特定メーカーに偏重することなく、すべての国内メーカー系列と取引し

ているほか、海外のメーカーとの取引も増加しています。

さらに、カーエアコンに使用されるスクロール部品など、自社製の金型で生産した自動車精密鍛造部品の生産・販売も行っています。

### 精密鍛造工程



## アッセンブリ事業

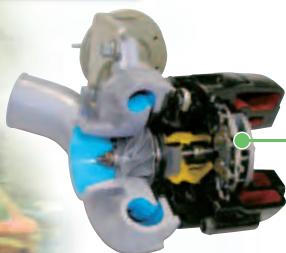
### 売上高の推移



### ◎ 技術・強み

VGターボチャージャーは、欧州の環境規制強化に対応したディーゼルエンジンに組み込まれ、NOx(窒素酸化物)、PM(粒子状物質)などの有害物質の排出削減や低燃費、スムーズな加速などを実現します。

当社は、これに使用される部品の独自の組み立て技術を確認し、国内およびタイで生産を行っています。



VGターボチャージャー部品



積層焼結金網フィルター

### ◎ 技術・強み

「ろ孔」サイズ・形状が異なる何枚ものステンレス金網を、独自の積層焼結技術により一体構造化したフィルター製品の開発、生産を行っています。

このフィルターは幅広い過精度への対応を可能にし、機械的強度、耐熱・耐寒性、加工性などに優れた特性を発揮します。また、当社のフィルターは洗浄して何度でも再利用することができ、省資源にも貢献しています。

### ◎ ユーザー

当社が組み立てた部品は三菱重工業株式会社に納入され、VGターボチャージャーに組み込まれた後、主に、欧州における乗用車に搭載されます。欧州では、他地域よりもディーゼルエンジン車が普及しており、環境規制対応のための開発が進められています。

### ■ フィルターを納入している主な産業例



ヘルスケア製品メーカー



フィルム製品メーカー



石油化学製品メーカー

## フィルタ事業

### 売上高の推移



### ◎ ユーザー

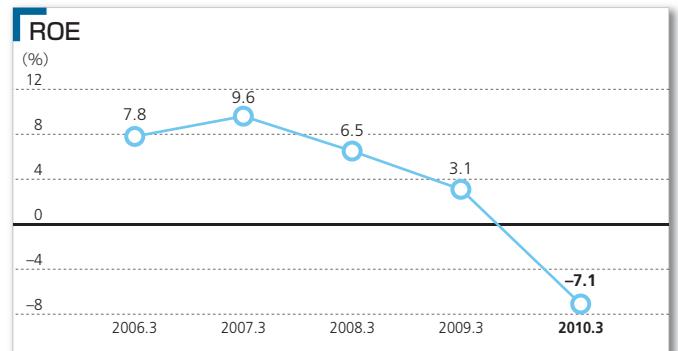
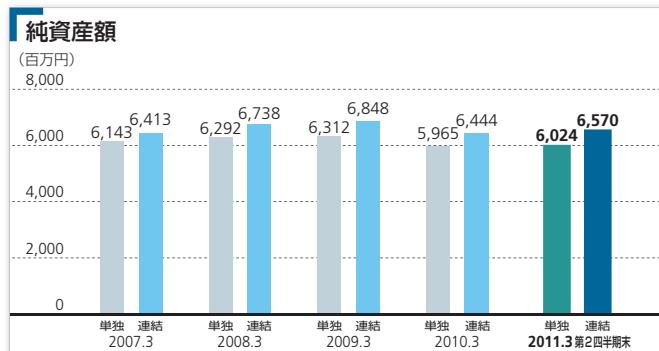
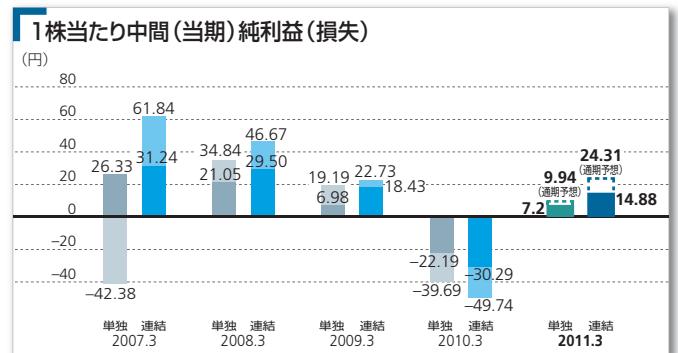
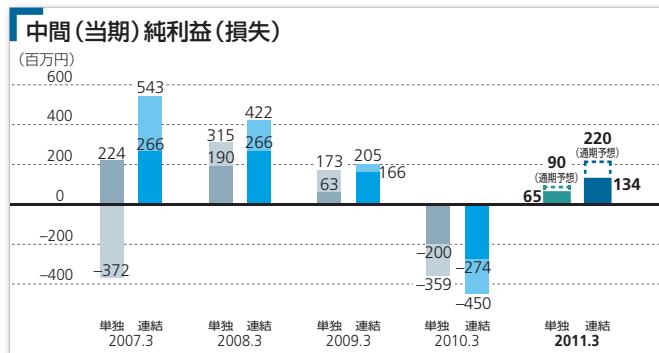
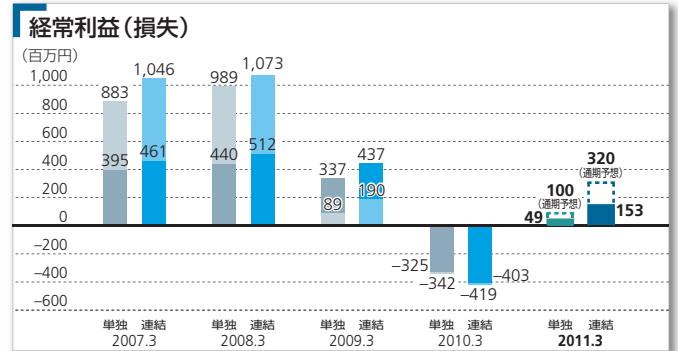
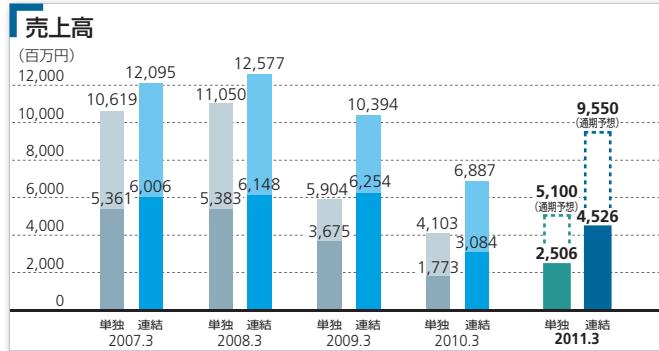
石油、ガス、原子力などのエネルギー分野、プラスチックなどの化学分野から繊維・医薬品・食品分野など幅広い産業で採用されています。

また、厳しい品質基準の下で高い信頼性を要求されるロケットの燃料ろ過にも使用されています。

## 決算ハイライト

■ 通期 (単独)      ■ 通期 (連結)      ■ 第2四半期累計 (単独)  
■ 第2四半期累計 (単独)      ■ 第2四半期累計 (連結)      ■ 第2四半期累計 (連結)

\* 百万円未満は切り捨て。



## 顧客業界の復調を受けて、当社の業績はV字回復となりました。

自動車業界を中心とする景気回復を受けて、2011年3月期の第2四半期累計期間(2010年4月1日～9月30日。以下、上半期)の業績は、大幅な増収増益となりました。前年度までの厳しい状況の中で取り組んできた体質強化策や、次を見据えた企画開発の成果も出ております。蓄積してきた力をバネに、成長軌道を確実なものとするべく全力で取り組みます。



代表取締役社長

古屋 元伸

**Q** 上半期の業績について教えてください。

**A** 業績は順調に回復しており、全事業で経常利益を計上しました。

上半期の連結売上高は、45億2千6百万円(前年同期比46.8%増)、連結営業利益1億5千8百万円、連結経常利益1億5千3百万円、当期純利益1億3千4百万円となりました。当期は各事業ともに業績が急速に回復し、全事業において経常利益を計上しました。

ネットシェイプ事業は、売上高25億6百万円(前年同期比41.3%増)と、前年を大きく上回りました。金型部門では、エコカー減税により国内の自動車生産台数が大幅に増加したため、国内ユーザー向けの販売が急ピッチで回復しました。一方、精密鍛造部品部門では、昨年を上回る売上高となったものの、当上半期よりの稼働を予定していた米系部品メーカー向けの量産が大幅な延期となったために、当初計画を下回っております。

### 第2四半期累計実績および期末業績予想(連結)

(単位:百万円)

	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期		2010年3月期	2011年3月期	
	実績	実績	伸び率	実績	業績予想 2010.11発表	伸び率
売上高	3,084	4,526	46.8%	6,887	9,550	38.7%
売上総利益	241	864	258.6%	923	1,820	97.0%
販売管理費	653	706	8.1%	1,336	1,450	8.5%
営業利益(△は損失)	△ 412	158	—	△ 412	370	—
営業外損益(△は損失)	9	△ 4	—	△ 6	△ 50	—
経常利益(△は損失)	△ 403	153	—	△ 419	320	—
四半期(当期)純利益(△は損失)	△ 274	134	—	△ 450	220	—

\*百万円未満は切り捨て。

#### 【見直しに関する注意事項】

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

## 社長メッセージ

アッセンブリ事業は、売上高15億1千万円(前年同期比77.4%増)と大幅な増加になりました。欧州市場向けVGターボチャージャー部品の需要が回復し、NICHIDAI (THAILAND) LTD.の生産が順調に推移しています。

フィルタ事業は、売上高5億9百万円(前年同期比10.9%増)となりました。国内における設備投資の復調を受けて、当社製品に対する需要が回復しています。

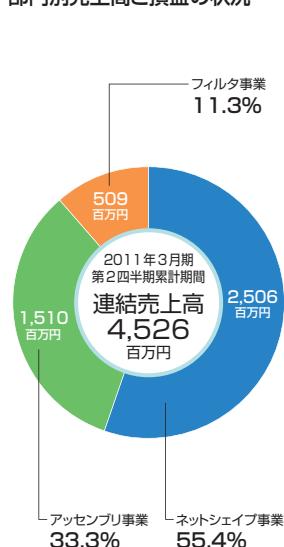
全事業において、当初の計画を超える業績計上になる見込みとなったことから、2010年8月6日に当上半期における業績予想の上方修正を行いました。

**Q** 通期の見通しについて教えてください。

**A** 市場環境に不透明感はあるものの、業績は好調を維持する見通しです。

当社の主力顧客業界である自動車産業では、円高の影響が大きく輸出への影響がある一方で、各メーカーの生産拠点の海外移転が進むと予想され、当社のビジネスチャンスが生まれます。こうした状況を考慮し、通期業績予想を売上高95億5千万円、営業利益3億7千万円、経常利益3億2千万円、当期純利益2億2千万円に上方修正いたしました(2010年11月5日発表)。

## 部門別売上高と損益の状況



## 売上高

(単位:百万円)

	2010年3月期 第2四半期累計		2011年3月期 第2四半期累計	2010年3月期 実績	2011年3月期		
	実績	実績			伸び率	当初業績予想 2010年4月発表	修正業績予想 2010年11月発表
ネットシェイプ	1,773	2,506	41.3%	4,103	5,300	5,100	24.3%
金型	1,517	2,123	39.9%	3,537			
精密鍛造品	255	382	49.8%	566			
アッセンブリ	851	1,510	77.4%	1,847	2,750	3,390	83.5%
フィルタ	459	509	10.9%	937	950	1,060	13.1%
連結計	3,084	4,526	46.8%	6,887	9,000	9,550	38.7%

## 損益

(単位:百万円)

	2010年3月期 第2四半期累計			2011年3月期 第2四半期累計		
	売上高	経常利益	利益率	売上高	経常利益	利益率
ネットシェイプ	1,773	△ 325	△ 18.3%	2,506	49	2.0%
アッセンブリ	851	△ 87	△ 10.3%	1,510	68	4.5%
フィルタ	459	9	2.1%	509	35	6.9%
連結計	3,084	△ 403	△ 13.1%	4,526	153	3.4%

\*百万円未満は切り捨て。



ネットシェイブ事業について、金型部門は国内部品メーカーの海外生産向け新規金型需要を見込んでおりますが、エコカー補助金終了による国内生産減の影響が予想されます。精密鍛造品部門では、予定していた米系部品メーカー向け精密鍛造品の量産開始が大幅な延期となりました。このためネットシェイブ事業全体では、期初予想を若干下回る見込みです。

アッセンブリ事業は、当初予想を大きく上回る見込みです。欧州自動車市場向け販売が、引き続き好調に推移する見通しであり、国内とタイの両生産拠点間の連携を強化して増産に対応する予定です。

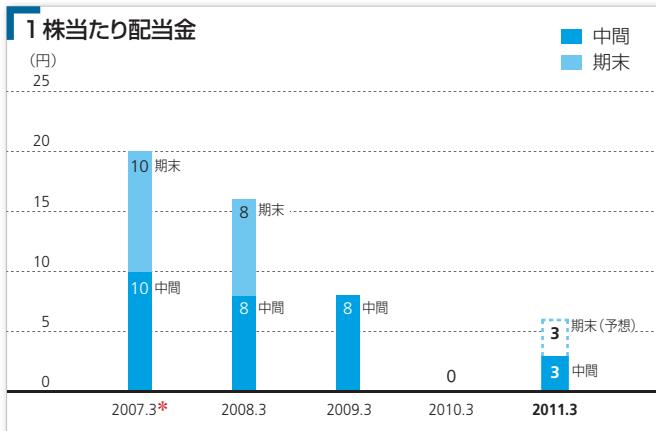
フィルタ事業も、当初計画を上回る見込みです。停滞していた石油掘削用フィルターの需要が回復に向かい、THAI SINTERED MESH CO., LTD.では新製品の生産を開始する予定です。フィルタ事業は、今後とも新製品開発による需要開拓に積極的に取り組みます。

**Q** 配当について教えてください。

**A** 予定通りの復配、3円の配当とさせていただきます。

前年度は業績悪化の影響により、配当を見送りとし、株主の皆さまにご迷惑をおかけしました。上半期については、ほぼ計画どおりの業績となったことから、期初に報告させていただいたとおり、3円の配当とさせていただきます。また、下半期についても、当初の予定どおり3円の配当を予定しております。

当社グループでは、事業環境の不透明感が一部残っているものの、各事業ともに業績回復の歩みは確かなものとなりつつあります。株主の皆さまには、当社グループの現況をご理解賜りますとともに、今後のさらなる業績回復にご期待いただきますようお願い申し上げます。



\* 2007年3月期は、中間、期末とも普通配当金7.5円、記念配当金2.5円、合計10円。

## 主要連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末
	2009年 9月30日現在	2010年 9月30日現在	2010年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	1,947	1,491	1,413
1 受取手形及び売掛金	1,776	2,520	2,401
2 たな卸資産	1,048	1,366	1,167
その他	119	160	160
貸倒引当金	△ 5	△ 3	△ 3
流動資産計	4,886	5,534	5,139
固定資産			
有形固定資産	5,372	5,045	5,170
無形固定資産	41	79	61
投資その他の資産	954	799	833
固定資産計	6,368	5,924	6,064
繰延資産計	4	—	1
資産合計	11,260	11,459	11,205

\* 百万円未満は切り捨て。

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末
	2009年 9月30日現在	2010年 9月30日現在	2010年 3月31日現在
(負債の部)			
流動負債			
買掛金	324	503	607
短期借入金	1,370	1,958	1,687
未払法人税等	9	39	40
賞与引当金	130	173	115
その他	353	382	321
流動負債計	2,188	3,057	2,771
固定負債			
社債	1,000	1,000	1,000
長期借入金	1,325	745	891
退職給付引当金	14	27	21
その他	93	58	76
固定負債計	2,433	1,831	1,988
負債合計	4,621	4,888	4,760
(純資産の部)			
資本金	1,429	1,429	1,429
資本剰余金	1,192	1,192	1,192
利益剰余金	3,803	3,762	3,627
為替換算調整勘定	△ 70	△ 100	△ 81
その他	6	5	10
少数株主持分	275	280	264
純資産合計	6,638	6,570	6,444
負債・純資産合計	11,260	11,459	11,205

\* 百万円未満は切り捨て。

## CHECK POINT

- 1 売上債権の増加  
売上高が増加した影響により、増加しました。
- 2 たな卸資産の増加  
各事業の業績回復に伴う、受注残高と在庫の増加の影響によるものです。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計 年度
	2009年4月1日から 2009年9月30日まで	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高	3,084	4,526	6,887
<b>3</b> 売上原価	2,842	3,661	5,963
売上総利益	241	864	923
販売費及び一般管理費	653	706	1,336
営業利益(△は損失)	△ 412	158	△ 412
営業外収益	52	45	66
営業外費用	43	50	73
経常利益(△は損失)	△ 403	153	△ 419
特別利益	—	0	—
特別損失	0	2	4
税金等調整前四半期 (当期)純利益(△は損失)	△ 404	150	△ 423
法人税、住民税及び事業税	5	32	36
法人税等調整額	△ 132	△ 27	△ 1
少数株主利益(△は損失)	△ 3	11	△ 8
<b>四半期(当期)純利益(△は損失)</b>	<b>△ 274</b>	<b>134</b>	<b>△ 450</b>

\* 百万円未満は切り捨て。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計 年度
	2009年4月1日から 2009年9月30日まで	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
<b>4</b> 営業活動による キャッシュ・フロー	518	105	270
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 159	△ 123	△ 321
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 100	108	△ 230
現金及び現金同等物に 係る換算差額	18	△ 12	21
現金及び現金同等物の 増減額(△減少額)	277	77	△ 259
現金及び現金同等物の 期首残高	1,320	1,060	1,320
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,597	1,138	1,060

\* 百万円未満は切り捨て。

## CHECK POINT

### **3** 売上原価の増加

アッセンブリ事業の売上高増加により、材料費が増加。また、前年度はコスト抑制緊急対策を行っていた影響により、人件費が増加しています。

### **4** 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産、売上債権増加の影響により、減少しました。

## ネットワーク

## 関連会社 (2010年9月30日現在)

- ① ニチダイフィルタ株式会社  
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷 14
  - ② ニチダイプレジジョン株式会社  
京都府京田辺市薪北町田 13
  - ③ THAI SINTERED MESH CO., LTD.  
Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand
  - ④ NICHIDAI (THAILAND) LTD.  
Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8. 700/882 Moo 5, TB. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand
  - ⑤ NICHIDAI ASIA CO., LTD.  
Amata Service Center Building Room 206/1 FL.2 700/2 Moo 1, Tambon Klontamru, Amphur Muang, Chonburi 20000 Thailand
  - ⑥ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION  
15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA
- ネットシェイプ事業   ● アッセンブリ事業   ● フィルタ事業

## 国内の主要な事業所 (2010年9月30日現在)

- 本社  
京都府京田辺市薪北町田 13
- 宇治田原工場  
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷 14
- 熊谷営業所  
埼玉県熊谷市桜木町 2-88
- 浜松営業所  
浜松市中区高丘西 1-10-20
- 名古屋営業所  
名古屋市千種区桜が丘 295 第8オオタビル
- 京都営業所  
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷 14
- 岡山営業所  
岡山市北区辰巳 22-103 TCKビル



本社



宇治田原工場



THAI SINTERED MESH CO., LTD.



ニチダイフィルタ株式会社



NICHIDAI (THAILAND) LTD.



ニチダイプレジジョン株式会社

⑥

## 会社概要・株式情報

## 会社概要 (2010年9月30日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市新北町田13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	441人

## 役員 (2010年9月30日現在)

代表取締役社長	古屋元伸
取締役	瀬川秀実 (営業本部本部長)
取締役	島崎定 (部品部ゼネラルマネージャー、 ニチダイプレジジョン株式会社代表取締役社長、 NICHIDAI (THAILAND) LTD. 社長)
取締役	畑中恵二 (生産本部本部長、 NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長、 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長)
取締役	辻寛和 (管理本部長)
監査役(常勤)	萩野雅章
監査役	小原正敏
監査役	堤昌彦

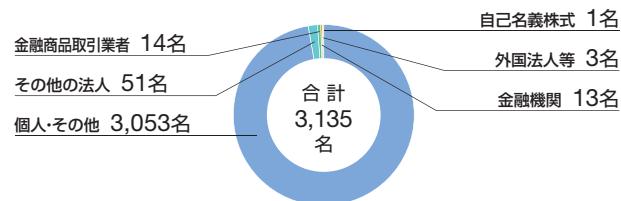
## 株式の状況 (2010年9月30日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	3,135名

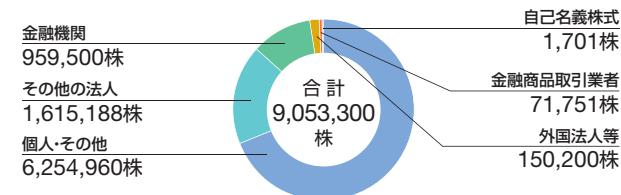
## 大株主 (2010年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78 %
田中克尚	497,688	5.49 %
ニチダイ従業員持株会	460,244	5.08 %
中棹知子	282,600	3.12 %
古屋啓子	272,600	3.01 %

## 所有者別分布 (2010年9月30日現在)



## 所有者別株式数分布 (2010年9月30日現在)



## アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。

この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。

つきましては同封のアンケートハガキにご記入いただき、ご投函頂きますようお願いいたします。

今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



## 株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

本 社 TEL.(0774)62-3481(代)



### URL

<http://www.nichidai.jp/>

ニチダイへの理解を  
深めていただくために、  
ホームページをご活用ください。

### Interview



顧客の課題を解決する技術開発に  
取り組んでいます。

開発室 小倉 篤

自動車業界は今、HVやEVの開発競争の真っ  
最中です。開発室では、国内自動車メーカーを  
ターゲットに、次世代自動車のコスト低減に直結  
する、軽量化のための技術開発に取り組んでい  
ます。当面は自動車業界に狙いを定めた技術開発  
に集中し、将来的には異業種への展開を視野に  
入れて活動していきます。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 期末 3月31日  
中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社  
口座管理機関

同連絡先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
TEL.0120-094-777(通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法 電子公告  
当社ホームページ (<http://www.nichidai.jp/>)  
にて掲載

単元株式数 100株

### ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。